

無駄にせず
有効活用!

捕獲された イノシシの行方



武雄市で捕獲されたイノシシは山内町にある武雄地域鳥獣加工処理センター（通称：やまんくじら）に搬入されます。個体の体長や重さなどの確認を行った後、質の良い個体は食肉やぼたん油へ加工をし、販売。食肉とならない個体は減容化施設により肥料へ加工され、農家の方に配布されています。



やまんくじら

株式会社 武雄地域鳥獣加工処理センター

有害鳥獣駆除で捕獲したイノシシを無駄にせず、地域の食資源として有効活用し、猪肉の特産品化を目指すことを目的に、平成21年4月より稼働。令和2年4月からは食肉利用しない個体の処理を行うため、新たにイノシシの減容化施設を導入。

武雄市山内町大字鳥海 9257 番地 2

☎0954-45-2700



上記商品は道の駅山内「黒髪の里」、武雄温泉物産館、大楠の里、メルカリにて販売されています。



メルカリ

各地区での活動

市内各地区では平成21年度より国の補助金等を活用し、ワイヤーメッシュ柵や電気柵の設置が行われております。

令和5年度までにワイヤーメッシュ柵が344km、電気柵が738台設置されています。

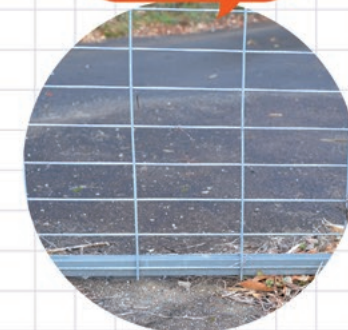
設置



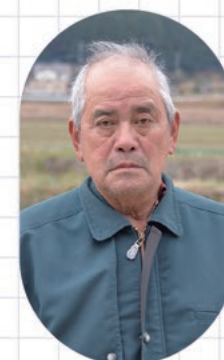
点検



補強



南



南永野区 山北 義見 区長

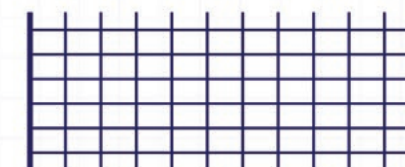
永野区では令和5年度にワイヤーメッシュ柵を約2100m設置しました。柵の設置は2日間行い、延べ50人の方に参加していただきました。設置の仕方については市が行う事前講習があるので、区の代表者が出席し、設置の際に伝えています。設置後はイノシシに侵入されることがなく、農作物の収穫ができました。柵の点検は主に雑草が茂りやすい時期に行い、草刈りをしながら、設置した柵の状態を確認しています。見回っていると、ところどころにイノシシが柵の下部を持ち上げた形跡があるので、鉄筋などを使って補強しています。また、私は猟友会としても活動しています。捕獲により個体数を減らすことで被害の軽減につなげていきたいと思っています。

設置の 注意点



電気柵

電気柵の電線は地面から20cm（イノシシ幼獣の鼻の高さ）、40cm（イノシシ成獣の高さ）にして必ず24時間通電させましょう。電圧を保つために定期的な草刈りを行いましょう。



ワイヤーメッシュ柵

ワイヤーメッシュ柵は年に4回は点検し、地際の固定とすき間などの補修に力を入れましょう。地際は竹や丸太等を活用し、補強しましょう。